

幾多の軍の攻撃を受けて
数奇な運命をたどった本庄城

本庄実忠が築いた本庄城は、永禄10年(1567)に小田原北条氏の攻略にあい、天正18年(1590)には豊臣方の攻撃を受け落城。その後、徳川方の小笠原氏が入城したが、二代目信之の代で廃城に。数奇な運命をたどった城なのだ。



利用したもの。瓦葺き
壁には漆喰塗り、
精巧なルネッサン
ス様式が施されて
いる。県の文化
財として、レトロ
で美しい洋風



14 田村本陣の門
本市中央1丁目
本庄宿本陣にあったこの重厚な門は、市の文化財に指定されている。現在は歴史民俗資料館の敷地内に移されている。



15 あんよういん(ふかんどう) **安養院(普寛堂)**
本庄市中央3丁目

山門は立派な楼門。背後にある普寛堂には、御嶽講の祖といわれる木食普寛上人の墓がある。木曾御嶽山の信仰登山は今も続く。



16 金鑽神社
 本庄宿の総鎮守。クスやモ
 の巨木が生い繁る境内には
 19世紀にわたって造営され
 刻を施した丹塗りの社殿が建



本庄まつり
本庄の鎮守様として親しまれている、金鑽神社の
大祭。11月初旬の2日間、絢爛豪華な10基の山車
が、晩秋の中山道を優雅に巡行。



19 **上里町郷土資料館**
 児玉郡上里町七本木
 上里町の歴史を紹介。明治4年
 中山道の街並を図面で展示。また
 隣接する出土文化財管理センタ
 ーでは、埋蔵物の整理状況も見らる



23 いちりつかあと **一里塚跡**
 児玉郡上里町勅使河原
 勅使河原（てしがわら）に入ると
 手に白い土蔵と小社が見えて、
 の脇には一里塚跡の石が建つ。
 たりには古い家並みが続く。



24 大光寺
 児玉郡上里町勅使河原
 本堂への参道を行くと左手には、文化12年(1815)、本庄宿の戸谷半兵衛が神流川を越す旅人のために建立した見透燈籠が移築されている。



..... 中山道まめ知識

神流川常夜燈

神流川の流れはよく変わるため、
その度に橋や渡船場の位置
が変わった。昼間でも道筋が
判りにくいため、川の両岸に目
印として見透灯籠と呼ばれる
常夜燈を設けた。その建立には募金も使われ、
俳人の小林一茶も寄付している。

